



骨抜きなもの腰が砕けてるものに惹かれる時があります。
ゆらゆら帝国の「空洞です」の骨の無さすぎるトロット口の音と言葉の面白さに俺の心の骨がまた何本か抜けてしまった。
「あえて抵抗しない」
「なんとなく夢を」
へろへろでスカスカな音の隙間にまたホーンがへろへろ入ってくるのね。
やる気無いのもここまで磨き上げると下手にスティックなものより尊い気がする。
こういうツボに目覚めちゃってこの手のぬるさに浸る度に人は骨抜き街道をゆるゆる歩いてくことになるのかな...とか、しっかり
という言葉から何万光年も離れてしまった私の脳内とこのアルバムをじっくり照らし合わせちゃう。

空洞です。